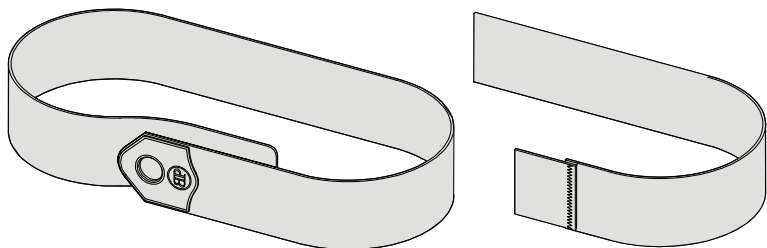


伸縮自在ユニバーサルストラップ

取付・取扱説明書

ART NOS. SP110S, SP110L, SP110XL, SP111S, SP111L & SP111XL



この説明書にはBodypointのすべての伸縮自在ユニバーサルストラップの安全な使用とメンテナンスに必要な重要情報が記載されています。使用者またはその介護人にこの説明書を渡し、内容を説明して、使い方確実に理解されるようにしてください。

⚠ 警告！ 製品は有資格のリハビリ技師が取付け、固定してください。

⚠ 警告！ 窒息の虞があるため、骨盤部を安定させずに本製品を使用するのは危険です。常にしっかりと固定した骨盤支持ベルトと共に使用してください。

用途：

⚠ 警告！ 本製品は車椅子または作業椅子に座っている人の位置決めのためにのみ使用してください。輸送用安全装置、個人用拘束装置としての使用、または故障が傷害を招く可能性のあるその他の適応での使用は意図していません。本製品の誤用は認可されず、危険です。

⚠ 警告！ この固定ベルトは、使用者の胴体と両肩をしっかり支持しつつ、怪我を招くことのない形で正しく装着する必要があります。正しい調節方法および使用方法については、座位保持の専門家から実地説明を受けてください。

- きつすぎると、呼吸の妨げとなったり、肩回りや胴回りを圧迫したりする危険があります。
- 緩すぎると、使用者が滑り落ちる原因となったり、頭部を圧迫したりする危険があります。
- 本製品が誤って外れると、使用者が前に倒れたり、車椅子から落ちたりする危険があります。
- 使用者が自ら取り外しできない場合、車椅子から滑り落ちたり、非常時に車椅子から抜け出せなくなったりした際に非常に危険です。

使用者の身体的能力または認識能力の制約により本製品を安全に使用できない場合は、製品の使用中、常に介護者の付き添いが必要となります。介護者の方は、本製品の正しい調節方法と取外し方法を必ず把握しておいてください。

⚠ 警告！ 新しい座位保持装置と同様に、この製品により人の座り方が変わる可能性があります。使用者

は、この製品が使用者に接触する部位だけでなく、仙骨、脚、臀部など圧力を受ける主な部分について、通常の圧力開放と皮膚の完全性チェックを引き続き実行しなければなりません。皮膚の赤みが増したり、炎症が起さる場合は、使用を止めて、医師がシーティングの専門家に相談してください。そのままにしておくと、褥瘡など重傷を負う恐れがあります。

⚠ 警告！ 本製品の使用に伴い重大なインシデントが発生した場合は、製造元 (Bodypoint, Inc.) および現地の監督当局に報告する必要があります。

安全性および性能に関する定期点検： 本製品は使用者に対する安全性確保のため、機能性および摩耗の兆候を定期的に点検する必要があります。本製品が正しく機能しない場合またはバックル、固定点、ベルト、パッドまたは縫い目に著しく摩耗している箇所が見つかった場合には使用を中止し、Bodypointの販売代理店に連絡し、適格な修理または交換を受けてください。資格を持たない人物による本製品の改造・修理はいかなる場合も避ける必要があります (使用者の健康と安全を守るために重要です)。

洗濯： 洗濯機使用、温水、60°C (140°F)。漂白剤使用禁止。乾燥機。低温、または自然乾燥。アイロン禁止。(洗濯時には製品を布袋に入れ、製品や洗濯機に傷が付かないようにしてください。)

処分/廃棄： 製品は寿命が終了した時点で、特別の注意を必要とすることなく安全に廃棄できる材質で作られています。

保証： この製品には、オリジナルの消費者による正常な使用から生ずる材料および仕上りにおける瑕疵に対する生涯限定保証が付いています。保証請求については、サプライヤーまたはBodypointに連絡してください。

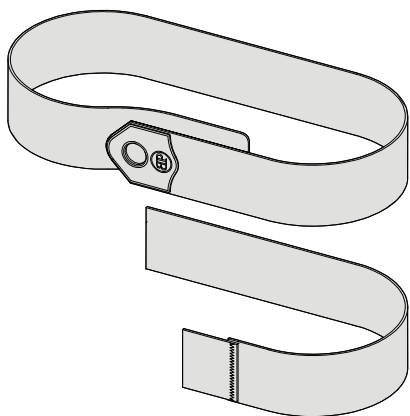
Bodypoint製品の詳細情報、および米国外の販売代理店の一覧は、www.bodypoint.comをご覧ください。



Bodypoint Europe BV
Kerkstraat 29
7336 PD Tenwolde
The Netherlands



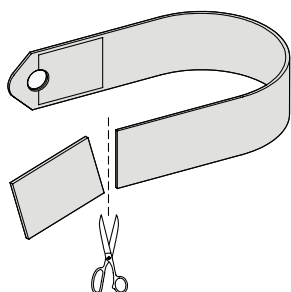
医療機器



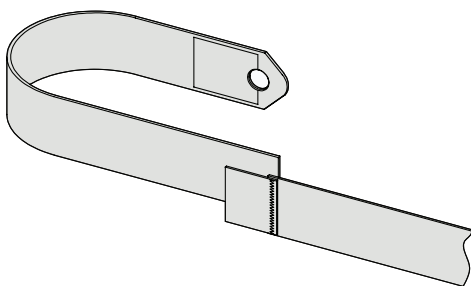
パッケージの内容

パッケージは以下の一つ以上を含む場合があります。

- 伸縮自在ユニバーサルストラップ
- 伸縮自在延長ストラップ



短くするには、所望の長さに切ります。



長くするには、延長ストラップを追加します。

位置決め

伸縮自在ユニバーサルストラップは、一時的な位置決めサポートを提供し、複数の箇所に設置して使用者のニーズに合わせることができます。長期位置決め解決策には、Bodypointが提供するより個別化した製品をお考えください。

安全点検

車椅子に適正に配置したら、使用者に前方や左右交互に傾いてもらい、固定を確認します。確認事項：

1. 快適度 – 何かがずれるようなら、ストラップを再配置します。
2. 位置 – 高すぎたり低すぎたりすれば、位置を調節します。
3. 他の装置の妨害 – 必要に応じてストラップを再配置し、肘掛け、付属品パッドや、栄養チューブから妨害物を取り除きます。
4. 傾き、折畳み、巻上げ等、あらゆる範囲の動きを通じて椅子を動かします。何か妨害物がないか確認します。

